

# 令和5年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（67） 学校名 豊田市立新盛小学校

## 1 テーマ

未来を見つめて、よりよい地域や自分のあり方を追究する子どもの育成

サブテーマ 「新盛学習」とコミュニケーション能力を高める活動を通して

## 2 ねらい

地域の「ひと・もの・こと」を活用した「新盛学習」（生活科及び総合的な学習の時間）において、地域愛、追究力、未来観、社会性を6年間で系統的に育成する。また、コミュニケーション能力を一行詩創作、暗誦、お話集会をはじめ、各教科の授業において段階的に育成する。

## 3 活動内容

### （1）新盛学習

1、2年生は、野菜作り、地域の梅を使ったお菓子作り、地域探検などにより、新盛の四季や季節の変化を植物や気候から感じ取った。3、4年生は、害獣対策やジビ工に携わる人々との交流により、学区の自然とかかわる人の営みや動物について学んだ。5、6年生は足助地区の方との交流や町並み見学により、足助地区と人々の営みの歴史を学んだ。

「新盛学習発表会」を開催し、学びを他の学級や保護者に伝えた。

### （2）コミュニケーション能力育成の取組

#### ①暗誦活動

・朝の暗誦活動や入学式、学芸会等の学校行事での暗誦発表を実施

#### ②一行詩創作活動

・生活の中での感動等を一行詩（川柳）に表現

・年2回（夏6月・冬12月）の一行詩集会を実施

・季刊一行詩集「やまもも」に一人一作品を掲載し、年4回学区全世帯へ配付

・長期休業中は親子で一行詩づくりに取り組み、「やまもも特集号」として発刊

#### ③お話集会

・毎週木曜日の「お話集会」で、全校児童が年間1回のスピーチ活動とスピーチ内容にかかわった話し合いを実施

#### ④コミュニケーション能力育成の各活動のまとめ

・一年間の一行詩創作活動、暗誦活動、お話集会のまとめとして、一行詩詩集、暗誦文集、作文集を合本にした「やまもも16」を作成。全家庭へ配付。

・児童一人1句を掲載した「一行詩クリアファイル」を作成。学区全世帯へ配付。

#### ⑤地域の方への感謝

・「新盛学習」や登下校等でお世話になった地域の方々を招き、児童手作りの五平餅を振舞う「感謝の会」を開催

・お世話になった地域の方に向けて、暗誦披露とレクリエーションを行う「ありがとうの会」を開催

### (3) 学校補助員の活動

#### ①校内整備員

- ・運動場周りや学校園の手入れを行い、児童が安心して活動できる環境整備を行った。

#### ②体力向上補助指導員

- ・全学年の体育の授業にTTとして参加し、模範演技をしたり技能習得のポイントを説明したりし、学習の補助を行った。

## 4 成果と課題

### (1) 成果

新盛学習の取組により、地域の自然、地域の人とのふれあい、地域の施設、地域の抱える課題、地域の歴史とこれからについて学び、地域への愛情を高めることができた。自分たちの住む新盛地区を含めた足助地区のよさを享受しつつ、自分たちにできることを考えることができた。

一行詩づくりは、行事や日々の学校生活、季節の移り変わりの中で感じたことを、のびのびと一行詩にすることことができた。一行詩集会で、よい表現の一行詩を選んだり、縦割りグループで合作したりして、表現力を磨いた。家族も一緒に一行詩を作成することで、家庭での会話の幅が広がった。

暗誦活動は、各学級で発表の仕方を工夫し、入学式や学芸会などの行事で成果を保護者に見てもらうことができた。保護者の方々からは「動きや手拍子を使って楽しい作品を鑑賞できた」「年々上達して、子どもの成長を感じた」などの感想をいただいた。また、「ありがとうの会」では日頃お世話になっている地域の方々をお招きし、披露することができた。「子どもらしい表現が楽しかった」との声をいただいた。

お話集会では、スピーチの後のグループでの話し合いにより、話の聞き方、話し方、繋げ方が上達し、息の長い発言や深まりのあるやりとりができるようになってきた。

### (2) 課題

学区の地域素材を大切にし、実施時期を見計らって学習計画を立てている。これからも、地域との繋がりを大切しながら効果的に学習できるようにしたい。

また、校外学習の移動手段としてバスは不可欠であるが、路線バスでは時間的有效に使うことができないことが多い。スクールバスの柔軟な利用と回数増が望まれる。

### (3) 補助員を配置したことによる成果

校内整備員は、本年度も運動場周りや学校園の整備を担当した。草刈り、溝の砂出し、野菜や花の苗を植える際の土壤整備等により、児童が安全に活動でき、担任やその他の教員の負担軽減につながった。

体力向上補助指導員は、全学年の体育の授業でTTとして入り、模範演技や技能習得のポイント説明等を行った。また、専門的な知識や技術を生かし、様々なコーディネーショントレーニングを紹介した。担任は指導のヒントを得ることができ、児童の運動への意欲や体力の向上が見られた。

## 5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・ホームページを毎日更新し、本事業に関わる授業や行事等の取組を、その都度紹介した。
- ・学校だより、学級だよりを各月2回ずつ発行し、活動の目的や成果を発信した。
- ・本事業に関するまとめの発表会、新盛学習発表会（総合・生活発表会）を2月に行った。
- ・創作した一行詩を年4回、学区全世帯に配付した。
- ・作成した文集を家庭に、一行詩クリアファイルを学区全世帯に配付した。